

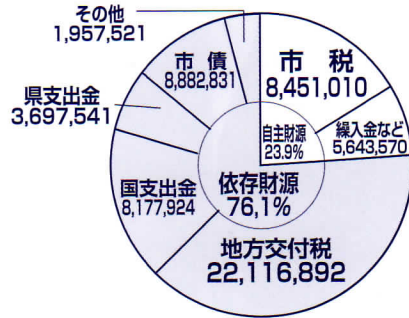


# 9月定例議会

一般会計 **589億2729万円**  
 実質公債費比率 **16.1%**と改善  
 特別会計は **285億4499万円**

# 22年度決算を認定

22年度一般会計決算 歳入(単位:千円)



8月29日に開会した9月議会において、前年度の決算認定を審議しました。平成22年度は一般会計が589億2729万円、特別会計は285億4499万円となりました。翌年度への繰越財源を除いた実質収支は一般会計・特別会計合わせて28億1169万円の黒字を計上しました。最終日の9月22日に採決があり、一般会計と後期高齢者医療特別会計は賛成多数(賛成25・反対3 青山ゆたかは賛成)、その他の特別会計は全員賛成で認定されました。実質公債比率は16.1%と、21年度より1.4%改善されましたが、財政運営上、「警戒ライン」といわれている15%を超えています。今年度以降も学校統合、ごみ処理施設等の大型事業が予定されており、引き続き行財政改革を推し進めていくことが求められていると思います。

※実質公債費比率・・・公債費負担(借金返済)の度合いを測る指標。25%を超えると起債制限団体となり、単独事業の起債が一部認められなくなる。

## 「歳入」について

1、「市たばこ税について」

**質問** 市たばこ税は今後も5億5千万円前後の収入が見通せる安定した財源。しかし、市内で消費される全てのたばこの中で市税になっていないものがある。それは一部パチンコ店の景品たばこ。市内の小売店から購入して頂くよう、協力を依頼することはできないか。



▲たばこは市内で買ひましよう!

**答弁** 地方たばこ税の趣旨は「できるだけ消費地に近いところに納められる」と理解している。市にとつても貴重な自主財源であるので、市外から景品たばこを購入しているパチンコ店に対し、お願いしていく。

**質問** 群馬県太田市では公社を活用して、たばこを仕入れ、パチンコ店に納入している。そのような工夫も必要だ。

**答弁** 太田市は先進的な自治体だが、その話は初耳だ。早速、照会したい。どんな活路があるかはやってみないとわからないが、アタックしてみたい。

## 9月20日 青山ゆたか 決算特別委員会 総括質疑 要旨

2、「元市職員の横領事件に関わる未収金について」

**質問** 決算書では一般会計、国保会計合わせて「弁償金」約800万円の収入未済額がある。これをどうしていくのか？

**答弁** 本人に対して賠償命令を出し、督促も出している。不履行にならないよう、弁護士にも相談するなど適切に対応していきたい。

**質問** 事件前後の経緯を考えると、本人が全額弁済できるか心配だ。一昨年の議会で、鈴木副市長(当時は総務企画部長)が「穴を空けないような方法を何とか見つけていきたい」と答弁している。2年経ったが、どんな方法を考え、結論を出したのか。

**答弁** まさに、様々な方法を考えたが、今の段階では本人に対して「一所懸命、返して下さい」と言うしかない。

ただ、本人に係る方々にも連絡をとって、相談もしたい。もしかして最終的には民事の訴訟まで考えねばならないかもしれない。

